

目指す学校像	確かな学力と人間力を兼ね備え、渋沢栄一翁の教えに学び、地域へ貢献するとともに世界で活躍できる人材を育てる学校。
--------	---

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 自ら学ぶ姿勢を持ち、確かな学力とビジネスの実践力を持った生徒を育成する。 マナーと規律を守り、思いやりの心を持った生徒を育成する。 進路に対する高い志を持ち、その実現のために主体的に活動する生徒を育成する。 地域・保護者と連携をし、地域・保護者に信頼される学校を作る。
------	---

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する)は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	5名
	生徒	2名
	事務局(教職員)	7名

学校自己評価					学校関係者評価		
年度目標					令和元年度評価(2月7日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<p>現状 生徒の多くが授業に積極的に取り組んでおり、約85%の生徒は授業内容を概ね理解している。また、家庭学習の取り組みは、学年が進むにつれて、少なくなっている。</p> <p>課題 授業の工夫・改善をすると共に、新学習指導要領に対応した教育課程の編成を図る。</p>	<ol style="list-style-type: none"> わかる授業の実現 検定合格者数の増加 新学習指導要領の対応を図る 	<ol style="list-style-type: none"> 「学ぶ力」を定着させる授業を展開し、公開授業を行うなど「授業力」の向上を図る。 資格取得の奨励などにより学習の動機付けを行い、より高度な資格取得を目指す。 新教育課程表の編成を目指す。 	<ol style="list-style-type: none"> 生徒の授業の理解度や授業への取組み(生徒アンケート)と公開授業の実施回数 各種検定の取得状況(普通教科も含む) 新教育課程表の取組み状況 	<ol style="list-style-type: none"> 授業への参加態度については、9割の生徒が「取り組んでいる」と回答しており良好である。望ましい職業観の育成や規範意識の向上については、9割程度の教員が行っていると回答している。 全商3種目以上1級取得者は120名であった。家庭学習は4割程度に止まっている。 9割程度固まったが、まだ調整が必要である。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習では、検定前の1、2週間前は行っているようであるが、普段から習慣づけられるよう指導を工夫するよう工夫が必要である。 教員が、年次研以外で他の授業を自由に参観するよう工夫が必要である 新教育課程はある程度方向づけられたが、新教育課程の教科内容を研究していく。
2	<p>現状 あいさつや身だしなみ、交通マナー等では、概ねできているが、服装(特に女子のスカート丈)や自転車マナーでは、引き続き指導する必要がある。</p> <p>課題 子どもの悩み相談やいじめの対応など、教職員の意識を高め、組織的に取り組む必要がある。 運動部への興味・関心が年々低くなっている。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 主体的にモラル・マナーを守る態度を育成する指導の実施 相談し易い環境の整備 部活動の活性化 	<ol style="list-style-type: none"> 身だしなみ、あいさつ、授業規律、交通マナー等、指導項目を重点化し、教育活動の全ての場面における学校全体での統一した指導を徹底する。 各委員会等の定期的な開催。 部活動の在り方等の検討 	<ol style="list-style-type: none"> 身だしなみ、あいさつ、授業規律、交通マナー等の状況の評価及び、アンケートでこれを主体的に守っていると答える生徒の数 委員会の開催数。(生徒アンケート) 部活動の在り方等の取組状況 	<ol style="list-style-type: none"> 生徒のアンケート結果では、9割以上の生徒が挨拶・身だしなみ・時間や交通ルール守ることが出来ていると回答している。 倫理確立委員会5回、特別支援教育委員会2回開催。いじめ・体罰等のアンケートの実施。 職員の意識はあるが、検討までは至らなかった。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 自転車のマナーが悪く、近隣から例年ない苦情が寄せられた。登校時の自転車事故も多いので指導方法を工夫する。 スマートフォンの学校での利用方法を考える必要がある。 部活動に関しては、活動していない部もあり、今後の活動状況を把握しながら、検討していく。
3	<p>現状 求人情報の保護者への提供などは評価されている。生徒の進路希望の満足度も高く、100%近くの生徒が進路を決めている。</p> <p>課題 保護者や生徒に対して、進路情報が的確に伝わるよう工夫する必要がある。 手帳の導入にともない、活用方法等の定着を図る必要がある。 県内企業や様々な団体と連携して、キャリア教育を推進していく必要がある。</p>	<ol style="list-style-type: none"> キャリア教育の充実 就職・進学希望の実現 eポートフォリオへの対応 	<ol style="list-style-type: none"> キャリアノートを活用し、地域企業や様々な団体と連携を図る。 就職試験・進学対策の指導体制の充実を図る 手帳の活用方法や校務支援システムの導入に伴う利用方法の周知を図る。 	<ol style="list-style-type: none"> キャリア教育に関連する講演会や実施状況やキャリアノート活用状況等 就職・進学希望者の進路決定状況 手帳の活用状況や校務支援システム導入・運用状況 	<ol style="list-style-type: none"> キャリア教育に関しては、進路指導部を中心に、進路ガイダンスをとおして、進めている 就職・進学希望者の進路決定状況は、ほぼ100%に近い状況である。 3年生が進路関係で活用している。校務支援システムの導入の準備は整った。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 1年生から進路ガイダンスをとおして進路に関する意識付けを行っているが、進学においては早めに準備させ、取り組む必要がある。 来年度は、手帳導入2年目になるが、1・2年生において活用方法を工夫する必要がある。 eポートフォリオに関する多くの情報を集め進学対応に備える必要がある。
4	<p>現状 地域との良好な関係を維持できていると考える。今後は、更なる効果的な連携を組織立てて行う必要がある。</p> <p>PTA活動では、ほとんどの保護者は生徒に対して関心が高く、協力的である。</p> <p>課題 ホームページを見やすく、アクセスし易くするなど、工夫する必要がある。また、渋沢栄一翁の功績を、地域と協力しながら、授業に活かした取り組みを工夫する必要がある。 100周年に向けて、保護者・同窓会・地域と連携して具体的に準備を進める必要がある。</p>	<ol style="list-style-type: none"> PTA活動の充実と効果的な情報発信 中学校訪問や効果的な学校説明会の実施 授業を通して地域との連携を図る。 100周年実施委員会を設置し事業に向けて準備する。 	<ol style="list-style-type: none"> 学校行事の保護者・地域への公開とHPの充実を図る。 中学校訪問や体験入学、学校説明会などの中高連携行事を実施する。 地域の企業と連携して効果的な授業を展開する。 委員会を中心にPTA・同窓会と連携しながら、100周年記念事業企画・運営を具体的に挙げる。 	<ol style="list-style-type: none"> 保護者の学校行事への参加状況ならびに、学校からの情報提供への満足度 中学生の進路希望状況 地域の企業との連携状況 100周年記念事業に向けた進捗状況 	<ol style="list-style-type: none"> 保護者の学校行事への参加状況は各支部の協力もあり参加率も高く、良好である。 1月の調査では、入試倍率が3学科平均1.19倍である。 「商品開発」等の授業で地元の企業と連携を図り、地元の産業祭にも参加することができた。 校内実行委員会4回・PTA・同窓会等含めた実行委員会を2回実施し、来年度にむけて準備を進めることができた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の学校への関心は高く、今後も、ホームページや広報誌等を活用しながら、なお一層の情報発信に努める。 中学生やその保護者は本校への関心が高く、資格取得だけでなく、多くの生徒が進学していることをもっと周知する必要がある。 「まなび ふるさと・深谷学」を合言葉に、深谷市の教育関係者との連携を深め、本校の独自性をアピールしていく。

実施日	令和2年2月14日
学校関係者からの意見・要望・評価等	<p>・授業を見学させていただいたが、生徒は熱心に集中して授業に取り組んでいる。</p> <p>・総合実践の授業では、会社での書類の書き方や電話のかけ方など大変勉強になった。3年間、充実した学校生活を送ることができた。</p> <p>・大学進学をする生徒は、普通科目に対して不安があり、自信をつけて進学できるよう対応を考えていただけると有難い。</p> <p>・自転車のマナーについて、生徒は、97.5%が出来ていると回答しているが、iPhoneの使用や2列走行など、生徒と教員の認識に乖離がある。</p> <p>・部活動は、一定の基準を設けて精選してはどうか。</p> <p>・スマートフォンの利用は、保護者の立場として、現状のまま、授業中以外は利用できるようにして欲しい。</p> <p>・生徒指導の数が少なく、特に生徒の喫煙による指導が少なく、驚いている。大切なのは、生徒にしっかり反省させ、それを繰り返させないようにすることが大事である。</p> <p>・キャリア教育をどのように推進しているのか。進路指導はしているが、また、職業教育はキャリア教育の一部と考えている。</p> <p>・進路指導では、1年生から大学への進学意識を高めて欲しい。</p> <p>・手帳の利用は、3年生はよく活用していたと思う。1・2年生での活用が課題である。</p> <p>・深商は、進学・就職どちらもできるので大変良いと思う。進路に対して生徒が迷ったら、途中で変更もできるので良い。</p> <p>・深谷市産業祭や道の駅は「おかべ」と「はなぞの」を市の産業部で担当として、何かやっていきたい。</p> <p>・深商生と協力して、街づくりについて考えていければと考えている。</p> <p>・PTA関係では、役員をやる人がなかなか出てきてもらえないのが課題である。学校によってはOB・OGの保護者がやっているところもある。学校でも考えてもらおうと有難い。</p> <p>・PTA役員の中でも、今後のPTA活動の内容を考えていく必要がある。</p>